

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月30日

事業所名 らいおんハート遊びリテーション児童ディ西川口

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を述べた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		室内用のジャングルジムやコンビカーラー、ボールなどで体を動かす十分なスペースを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切である	○		作業療法士や理学療法士、言語聴覚士、保育士などの資格を持った職員が在籍しており、日々お子様たちと一緒に活動しております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内に段差は無く、また一階の施設ということもあり階段はございません。トイレには車いす専用のトイレもあり、個室にはすべて手すりが設置されています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃を行い、注意が逸れないよう部屋の中には必要最低限のもののみ配置しております。広く場所をとっており、また活動に合わせて部屋を変えております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間で話し合い、お互いに知識を高め、より良い支援・業務を行えるように努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度、保護者に事業所の評価用紙を配布することや、定期的に個別面談を行うことで、直接保護者の声を聞く機会を設けております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		2017年度分より公開しております。また、保護者向け評価表につきましては、コメントをいただいた部分には返答や改善の内容等を合わせて、公開しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			今後取り組んでいきたいと思っております。
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員間で勉強会を行ったり、外部の研修に参加した内容を職員全体で共有するなど、職員の資質向上のために努めています。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の方の声を聞き、ご要望に沿つて計画書を作成し、一人ひとりの発達や課題に応じて支援計画を作成しプログラムを提供しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		遠城寺式発達検査を行っています。また、外部で行った検査結果を共有しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		1人ひとりに必要な項目を具体的に設定し、支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		職員全員が支援計画を把握し、お子様一人ひとりに合った支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い、活動予定を作成しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月テーマを決め、テーマに沿った活動を提供することで、活動プログラムが固定化されないようにしています。また、新型コロナウイルスの影響もあり、以前のようにイベントが行えなかつたため、普段行う活動を行事風にアレンジし、季節を感じられるように配慮しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		身辺自立などの個別の課題と、コミュニケーションなどの集団の課題を、状況に応じて組み合わせて支援計画を作成しています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 らいおんハート遊びリテーション児童ディ西川口

関係機関や保護者との連携	評価項目	評価基準	評価結果		評価コメント
			該当する場合は○、該当しない場合は△	該当する場合は○、該当しない場合は△	
			該当する場合は○、該当しない場合は△	該当する場合は○、該当しない場合は△	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	毎朝ミーティングを行い、その日の確認事項などを共有しています。また、ミーティングに参加できないスタッフのためにミーティング内容をノートに書き、全員が確認できるようにしています。		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	気づいた点などがあれば、その日のうちに話し合い共有できるようにしています。また、ノートなどを使用しすべてのスタッフと情報を共有できるようにしています。		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	1人ひとりの支援に対して、毎回日誌を記入し、支援の検証・改善につなげています。		
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的にモニタリングを行い、ケース会議を行ったうえで支援計画の見直しを判断しています。		
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	管理者や児童発達支援管理責任者などお子様の状況に精通した職員が対応できるようにしています		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	関係機関から問い合わせがあった際には連携を取って支援を行っています。		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、医療ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様は在籍しておりません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在、医療ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様は在籍していません。今後そのような場合には、連携体制を整えて受け入れていきたいと思います。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	当施設でのお子様の様子を見学して頂いたり、保育園等と保護者の方との間で3者間ノートを作成するなどして、情報共有と相互理解を図っています。		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	学校から要請があれば応じ、情報共有を行っております。		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	併用利用しているお子様がいる場合は、連携を取りお互いの施設での様子等を共有しています。		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	今後そのような取り組みも行っていきたいと思っております。		
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	機会があれば、積極的に参加しています。		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	毎回連絡帳にその日の様子を記入したり、送迎の際に情報共有を行っています。また、定期的に保護者と面談を行うなど、発達状況や課題について話す機会を設けています。		
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			まだ実施できていませんが、毎月発行しているおたよりにて、家庭でできることや、関わり方のポイントを教えています。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に適切に説明を行っています。また、変更があった際には都度お知らせを配布しております。		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	保護者の方に確認してもらい、同意を得たうえで署名をいただいています。また、計画書のコピーを保護者の方にお渡しし、ご家庭で保管していただいている。		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 らいおんハート遊びリテーション児童ディ西川口

保護者への説明責任等	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	保護者の方からの相談には、電話や個別に面談を設けるなどして、速やかに助言や支援を行えるようにしています。また、子育ての悩み等の相談に適切に答えられるよう、日々知識向上に努めています。	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		現在新型コロナウイルスの影響で開催が難しいですが、今後そのような取り組みも行っていきたいと思っております。
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	おたより等の配布物でご連絡させていただいている。面談等のご希望があつた際には、希望に応じて日程を調整し、早期に対応させていただくようにしています。	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	活動の様子や、行事予定をおたよりにして、毎月配布しております。	
	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>	鍵付きの書庫に保管して管理するなど、個人情報の取り扱いには十分注意しております。	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	専門職のスタッフ等が配慮した上で、意思疎通・情報伝達できるようにしています。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		今後そのような取り組みも行っていきたいと思っています。現在は新型コロナウイルスの影響でできませんでしたが、夏祭りを行う際には、近隣の事業所や相談支援事業所を招待させていただいております。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	マニュアルを各部屋に掲示することで、すぐに確認できるようにしています。また、発生に備えた訓練や講習会を行い、職員全員で確認することで、非常時に備えています。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	年に2回、地震・火災を想定した防災訓練を行っています。また、その様子につきましてはおたよりやブログで公開しております。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>	事前にてんかん発作などの必要な情報や、子どもの現在の状況について保護者の方に記入していただいています。	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	お弁当持参のため、他のお子様のものに触れないよう、配慮しています。	
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	ヒヤリハットが起きた場合には、他店舗での事例も含め、職員全員に周知し、事故につながらないようにしています。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	県で行われる虐待防止のための研修に参加し、その後職員間での伝達講習を行っています。また、虐待防止のマニュアルを掲示し、スタッフ全員に周知できるようにしています。	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>	やむを得ず身体拘束を行う可能性がある場合には、保護者の方に事前に相談させていただいています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。